

女川原発はいま 女川町  
現地からの報告 2 元町議会議員 高野博

## 核のゴミ貯蔵施設の計画を断念させ、原発を止めよう！

前回「乾式貯蔵施設」の設置反対運動を始めたと報告しました。

東北電力は昨年2月、女川

原発2号機の再稼働にむけて、核のゴミ「乾式貯蔵施設」を敷地内に設ける方針を明らかにし、設置許可申請を原子力規制委員会に提出しました。

この施設が実現しなければ、2号機は4年後に使用済み燃料プールが満杯になり、運転を止めざるを得ません。追い込まれた東北電力は、ウソで塗り固め住民をごまかそうとしています。

第一のウソは、「敷地には核のゴミは置かない、持ち出す」という約束をほごにしたことです。

第二のウソは、搬出先も搬出時期も示さない「一時保管」という言い草です。

核燃料サイクルが破綻している中で、一旦同意したら半永久的に「核のゴミ捨て場」にされかねません。

昨年12月、阿部律子・高野晃両町議の名で、乾式貯蔵施設に関する町民アンケートを実施（2200世帯に配布、187通回答）。その結果は反対が64%、賛成はわずか15%でした。1月17日に女川町長にその結果を届けました。

「乾式貯蔵施設」設置には、県と女川町、石巻市の同意が必要。私たちは、これから町有権者の過半数署名に取り組み、女川町長に「核ゴミ貯蔵施設の計画に同意するな」と迫っていく決意です。

一方、県内外の署名も集めようと、団体署名と個人署名、オンライン署名もすすめています。池田町の皆さんもぜひご協力ください。

## 自衛隊名簿提出 除外申請とは

池田九条の会が昨年町に提出した「自衛隊への若者の個人情報提出中止」の要望に対し、町は個人情報を出して欲しくない人に対しては「除外申請」で対応すると申請を受け付け始めています。

対象は2025年度中に18歳と22歳になる方で3月末が期限です。情報提供したくない方は面倒ですが、申請をお勧めします。（正確なことは町に問い合わせください。）

私たちは憲法違反の提供の中止を求めています。100歩譲っても社会通念上、提供を受ける側が対象者に依頼すべきだと、アンケートも実施中です。ご協力ください。

豊町 曾根原鈴美

## 公平、公正な報道を望みます

テレビのニュースで、見出しを強調したいのかポイントなのか、文字色の異なる時があります。ウクライナ支援に「日本政府が学校へオーブンを贈った」NHKニュースで「日本政府が」という5文字が黄色でした。

おいしそうに食べる子ども達、ありがたいと述べる厨房の人が映りました。それなら、被団協の人が石破首相と面会した後、会見で「首相から得られたものはなにもありません。核兵器禁止条約の締結国会議へのオブザーバー参加すら後ろ向きです」と述べたこともしつかりと伝えてもらいた

吾妻町 西田良平

## 文芸欄 今月は川柳です

天照らせ世界の夜明け小諸から  
半大人大統領に返り咲く  
トラ暴走石は投げずにスリ寄って

守 徳子  
山茶



## 石破内閣 25年度当初予算案提出

### 国民生活軽視・大企業優遇・アメリカ追随・大軍拡・1115兆円にのぼる超大型予算案

1月15日から通常国会が開会され活発な議論が続いています。

私達の暮らしは日に日に苦しくなっています。食料品やガソリン、灯油、電気料金など生活必需品の値上がりが激しく、物価上昇率は4%に達しています。

たび重なる大寒波と大雪におそわれていますが、今後この影響はさまざまなところに及び更に生活を圧迫してきます。

消費支出に対する食費を表すエンゲル係数は28%に高まっています。更に高額療養費を引き上げ、給付金5330億円の削減や大学授業料の値上げが相次いでいます。暮らし応援予算案とは程遠いものです。

いっぽう大企業には法人税減税などの優遇策によって600兆円に迫る内部留保が溜めこまれており、実質的法人税は大企業で10%、中小企業では18%程度です。

その上、半導体・AI企業ラピダス、キオクシア、マイクロン、



糸洲の壕 鎮魂の碑

## 沖縄「糸洲の壕」佐久市が整備完了 糸満市「信濃の塔」で戦没者追悼

沖縄糸満市の洞窟「糸洲の壕」で佐久市が進めていた整備が完了し、30日現地で式典が開かれたこと、また同地にある長野県出身戦没者の慰霊碑「信濃の塔」で戦没者の追悼式と慰霊祭があったと報じられた。遺憾ながら「糸洲の壕」

必要なことです。更に軍事費の異常な突出があります。22年から25年まで3年間で3・3兆円増え、25年当初予算案は8・7兆円に達しています。

この上に後年度負担と称する分割払い金加わり総額は15兆7千億円の巨額になります。暮らしを軽視し歪んだ予算案の組み替えを要求します。（ファンクラブ会長 太田勲）

という存在を知る人はそれほど多くないのではないだろうか。

記事によれば壕は太平洋戦争中の沖縄戦で野戦病院が置かれ、佐久市野沢出身の小池勇助軍医が看護隊女学生らを指揮、本人は自決した一方、女学生には「生きて戦争の悲惨さを伝えるように」諭したとされ25人中22人が戦後を生き残ったという。小池軍医の残した言葉には感銘する。

戦後80年きな臭くなった今、学び語り継ぐことは平和にとって大切なことだ。（山本伸一）

## 信州池田クラフト展 コネクト展 盛大に開かれる

町立美術館主催の「信州池田クラフト展」実行委員会主催の「コネクト展」が昨秋も開催されました。

入場料無料ということもあり、町内外から沢山の入場者が訪れました。

その見学者の中には小学生の職場学習をテーマに訪れた児童もおり、作品に対する学芸員の説明に目を輝かせて聞き入り、将来は学芸員になりたいと話した児童もいたこと。健康木馬の前には子どもたちの行列が出来て、中には泣き出す子もおり学芸員の苦勞も大変だったと聞きました。

ユニークな町立美術館が内外の出品者、見学者に愛用されその体験がその人の人生の充実に役立つならば主催者である池田町として大きな成果になると思います。さらなる盛況を期待したいと思います。 滝沢 服部守正

## コラム 有明

今年2025年、いわゆる「団塊の世代」800万人全員が75歳後期高齢者となり「2025問題」と言われている。その中で特に本人や家族への影響が大きいと言われているのが「認知症」だ。これにより社会的・経済的負担が増大し、さまざまな分野に影響を与えると予想されている。▼日本では、65才以上の高齢者が全人口の約29%に達し、認知症の患者は年々増加して5人に1人が罹患すると言われている。2025年には1千万人になるとの予測もあり、医療・介護費用や介護人材不足などの社会的課題がさらに深刻化する懸念がある▼自分も80才近くなり、物忘れが多くなり、今まで出来たことがスムーズにいかなくなり、地元の病院の「物忘れ外来」を今年受診した。記憶力テスト、問診、MRI検査などを受け「年相応の変化」と診断され、念のため半年後再検査となった▼本人や家族が言動や行動に不安を感じるようになったら、ネガティブになる前に気軽に受診するのはどうだろうか。